

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】令和 3 年 1 月 14 日 (2021.1.14)

【公開番号】特開 2018-95959 (P2018-95959A)

【公開日】平成 30 年 6 月 21 日 (2018.6.21)

【年通号数】公開・登録公報 2018-023

【出願番号】特願 2017-227203 (P2017-227203)

【国際特許分類】

C 2 3 C 14/34 (2006.01)

C 2 3 C 14/50 (2006.01)

H 0 1 L 21/677 (2006.01)

H 0 1 L 21/673 (2006.01)

B 6 5 G 49/02 (2006.01)

【F I】

C 2 3 C 14/34 K

C 2 3 C 14/50 E

H 0 1 L 21/68 A

H 0 1 L 21/68 U

B 6 5 G 49/02 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 11 月 24 日 (2020.11.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 3】

密着シート 3 8 は、図 6 に示すように、平坦なシートであり、一方の面に第 1 の密着面 3 8 a を有し、他方の面に第 2 の密着面 3 8 b を有する。第 1 の密着面 3 8 a は、保持シート 3 6 の非粘着面 3 6 b に密着する粘着性のある面である。第 1 の密着面 3 8 a は、少なくとも貼付領域 S に対応する非粘着面 3 6 b の領域の全体に亘って密着している。貼付領域 S に対応する非粘着面 3 6 b の領域とは、貼付領域 S の真裏となる非粘着面 3 6 b の領域をいう。また、第 1 の密着面 3 8 a は、フレーム 3 7 に対応する非粘着面 3 6 b の領域にも密着している。つまり、第 1 の密着面 3 8 a は、フレーム 3 7 の真裏となる非粘着面 3 6 b の領域にも及ぶ範囲に密着している。本実施形態では、フレーム 3 7、保持シート 3 6、密着シート 3 8 の外形寸法が一致している。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 3】

(区切部)

区切部 4 4 は、スパッタ源 4 により電子部品 1 0 が成膜される成膜ポジション M 1、M 2、表面処理を行う処理ポジション M 3 を仕切る部材である。以下、成膜ポジション M 1、M 2 を区別しない場合には、成膜ポジション M として説明する。区切部 4 4 は、図 3 に示すように、搬送経路 L の円周の中心、つまり搬送部 3 0 の回転テーブル 3 1 の回転中心から、放射状に配設された方形の壁板 4 4 a、4 4 b を有する。壁板 4 4 a、4 4 b は、

例えば、真空室 2 1 の天井に、ターゲット 4 1 を挟む位置に設けられている。区切部 4 4 の下端は、電子部品 1 0 が通過する隙間を空けて、回転テーブル 3 1 に対向している。この区切部 4 4 があることによって、反応ガス G 及び成膜材料が真空室 2 1 に拡散することを抑制できる。